

京都教区時報

カトリック京都教区ザビエルネット／アクセスNo.075-467-1676 ゲストID:GUEST 通信速度:1200-28800bps 通信条件:N,8,1,X,N
e-mail catholic@mbox.kyoto-inet.or.jp Home Page http://web.kyoto-inet.or.jp/org/catholic/

4頁 紀元二千年をめざしての五力年計画(1)

第226号

田中司教認可
発行 京都司教区
責任者 村上透磨
京都市中京区河原町
三条上ル
カトリック会館
編集用 TEL・FAX
075-682-5673

細川ガラシア

細川ガラシア。本名、玉(珠)子。明智光秀の次女で細川忠興の妻というのあまり有名である。

一五八二年、父明智光秀の本能寺の変により、夫忠興によって竹野郡弥栄町三戸野(みとの)に幽閉される。一五八四年豊臣秀吉に許されて復縁するまでの二年間、丹後の山深い三戸野で過ごす。非

常に真面目な性格といわれる彼女が夫によって幽閉され、逆臣の子として汚名をさせられ過ごした二年間は大いにつらい毎日であったと思う。

幽閉がとけ復縁した彼女は高山右近の教えを夫より聞き、一五八七年夫に内緒で侍女マリアの手により洗礼をうける。幽閉生活は彼女に「救い」について考えさせた

常によく「夫の反対にも負けず、「信仰はしていない」と言いきったと言われる細川ガラシアは、その静かなイメージとは異なり、強さを感じる。彼女のひたむきさ、何か一つ主義主張をもつた生き方に学ぶところがあるのではないだろうか。幽閉からの解放、汚名回復への救い、などなど。そして、復縁後のキリスト教との出会いは真に深い救いの教えとの出会いではなかつたかと思う。

夫の反対にも負けず、「信仰はしていない」と言いきったと言われる細川ガラシアは、その静かなイメージとは異なり、強さを感じる。彼女のひたむきさ、何か一つ主義主張をもつた生き方に学ぶところがあるのではないだろうか。



チリだより—基礎共同体作りを通して—

カロンドレット聖ヨゼフ会



ちょうど十二時間の差がある
海のむこうで、日本の家族や友人たちに思いをよせていました。
そして、皆様の祈りと温かい友情とご支援に感謝しています。

私の毎日の仕事は、ボランティンの人々の訪問と会議に出席することです。これから、二回に分けて皆様方に私がしています奉仕活動を報告したいと思います。

●ミッション・ヘネラル

基礎共同体づくり

「Mission Heneral」(ミッションヘネラル)とは、三年目を迎えるタルカ教区の基礎共同体作りのことです。この共同体作りは、地区内の一区画を二人ず

つがペアになつて、家庭訪問し、信仰の分かち合いをし、それを通して互いに知り合い、神の子であることを確認し、信頼を深め合つてゆくというものです。昨年には、大人も青年も子供たちも全てが参加するようになりました。そして

今年、ミッションを準備するメンバーたちから、「ミッションは地区の中で一番疎外され、貧しい地区から始められることになつていい。私たち『サン・ミゲル・デル・ピヅコ』に行きます」と告げられました。一つの拍手が聴こえ、最後には全員が拍手喝采で決定するという感動的なことが起きました。

●ボランティオン・サン・ミゲル・デル・ピヅコの訪問を始めて

『サン・ミゲル・デル・ピヅコ』は先に述べたとおり、貧しいだけでなく、カルロス・ツール地区が抱えているすべての問題を持つているボランティオンとして、私たちの地区に住む人々にさえ、そこに近づくことを恐れられているところです。アルコール中毒や薬物などの犯罪から家庭内暴力にいたるまで、常に何かが起こつてい

る中心的地区なのです。

私たちは約五百の家族を対象にして訪問を始めました。私は共同体「友イエズス」の高校生男女二人とモアニに属する一人の子供とともに家庭訪問を始めました。一番最初に私たちを受け入れてくれたのは若い主婦でした。彼女と立ち話をしていると酔っぱらった主人が帰ってくるという、典型的なボランティオンでの場面も迎えてくれました。二回目の訪問では、家の中に入りました。そこには兄弟の一人が床に毛布をかぶって寝ていましたが、彼女は壊れた大きなテレビを指し、どうぞと勧めてくれました。私たちはそこに腰かけ、聖書の分かち合いをしました。

七番目に訪問したマリアの家では、大きなベッドが一つあり、その上に衣類が山積みになつてしましました。彼女は子供三人と夫婦といふれてくる喜びの表情は私を魅了しました。

●私を回心へと呼びかけるもの

第三世界に奉仕する宣教者は、そここの貧しい人々を助けるという概念がすぐに脳裏に浮かんでくるのですが、私はそれよりもっと大事なことは、現地の人々と人生のひと時をともに歩み、経験を分かち合い、人ととのきずなを少しでも築いていくことだと思います。ミッションを通して私が出会つた人たちは、「自分の家を他の人が訪問してくれた」と分かち合つてくれました。このミッションの中で一番嬉しかった一言です。

訪問三回目に私たちを招き受け入れてくれた家では、大人ばかり五人が一堂に集まりました。この人々は近くに住みながら言葉も

かわしたことがないのですが、その日のテーマ「放蕩息子のたとえ」の箇所を通して深い分かち合ひができたのは私にとって大きな恵みでした。そして、分かち合ひを通して幼児期から生きるために働き続けている厳しい人生の重みを知り、また心が揺さぶられました。

今問われる教育とは——全人教育と真人教育——

奥村一郎神父(カルメル会)の講演

聖母教育文化センターで、今年も公開講演会が六月八日に開催されましたので、要旨を紹介します。講演会全文は秋に発行される「聖母教育文化センター報No.3」に、掲載される予定です。ご希望の方は、お申し込みください。

連絡 075(641)0507
聖母文化センター事務局

●全人教育の崩壊

全人教育と真人教育というものは、じつは二十年前、聖母短大の皆さんと一緒に働いていたころに出たテーマなんですね。しかし、その意味するものは、今もやはり変わらずにあります。

この二十年間、とくに去年は、人間の能力を超える天災、人災、そして宗教界をゆるがす出来事がありました。神が、それらの事から何を私たちに読み取るように訴えておられるのかさえ考へるのは難しいことです。しかし、読み取らねばならないことが何がある、と思われて仕方がないんです。

これまで日本は全人教育でやつたばかりで、それが神の思想の中に取り入

てきた。体育、知育、德育の三つ揃えといいましょうか、人間を完全な形でとらえ、バランスのとれた教育をしてゆく。とくに学校教育はそれです。その結果、科学も経済も非常に成長したには違いないが、受験競争も出てきたし、落ちこぼれの問題も生まれた。今、いじめの世界ともなって出てきているのでしょうか。

全人教育で、立派な人間とか、偉い人とか、力ある人、才能ある人を育てることはできたかも知れない。しかし、箱だけ作つて中身がないとか、仏作つて魂入れずというか、一番大切な生きた人間ではなく、死んだ人間ができる可能性があつたのではないか。秀才でありエリートである人たちが引き起こしたオウム事件の中に、全人教育の完全な崩壊をわたしは見るのでした。

●本当の人間

ところで真人教育についてですが、真人という言葉は中国の『莊子』という古い本に出てくるわけで、それが神の思想の中に取り入

れられた。どういうことかといえば、『本当の人間』ということ、それだけだと思うんです。だが、

本当の人間とは何なんだ、ということになる。その手がかりを考えてみようと思います。

二十年ほど前のこと、『大きな木』という童話絵本が話題になりました。実も枝も幹も、人間に与えて与え尽くしたリンゴの木の話

なんです。それをスヴェール愛徳修道会のシスターが、桃山教会の土曜学校で子ども達に読んでもらった。すると、一人の男の子がワッと泣きだして『ぼくは一生懸命やつてたけど、ぼくには心がない』といつた、というんですね。

それを聞いて考えさせられた。もしわたくしがこの坊やの心を表わすとすれば、二つの言葉で表わすことができるのではないか。ひとつは『いいのち』という言葉。そしてもうひとつは『自分』という言葉ですね。その坊やにしては、ぼくは生きているようだけれど、一

●人間であること

もうひとつは自分ということです。ぼくは一生懸命やってるけど、もう自分が自分でないんだ。なんかもまるで他人に動かされているようなロボットのような自分なんだ。自己喪失ということですね：いまカルチャーセンターの講座

はすごい数です。自己喪失してしまった現代人が、さまざまな方法で自己実現をはかつていて：ふとそのとき聖書の一一番気になることばが不意に頭に浮かんできました。

『自分の命を保とうとするものはそれを失い、わたしのために自分の命を失う者はそれを見出す』『一粒の麦、もし地に落ちて死ななければひとつにとどまるものを、もし死ねば多くの実を結ぶ』『あなたたちが自分の命を憎まなければ：』非常に強いことばです。

どんな人間も、ただ人間が人間であるということだけで、どれほど深い神秘を持っているものかと云ふことを聖書から読み取らねばならないでしょう。

紀元二千年をめざしての五力年計画(1)

1996年9月1日発行(226号)

京都教区時報

- 教皇ヨハネ・パウロ二世の呼び掛けに答えて、紀元二千年の到来を迎えるにあたって、各小教区・各施設・各団体で五力年計画を作成されています。取り組みの早いところ、ゆっくり取り組まれているところがあります。**
- 十一月二十三日に、それぞれから提出されたものが印刷物で配布されますが、教区時報でも順次紹介致します。**
- ◆ 安曇川教会(滋賀)**
- ◆ 一九九六年のテーマ
信仰の証し。教皇様もクリスチヤン・私もクリスチヤン
 - ▼一九九六年の課題
 - 世間の人達が抱いているクリスチヤンのイメージは? (七月~八月)
 - 信徒から見たクリスチヤンらしいクリスチヤンとクリスチヤンらしくないクリスチヤン (八月~九月)
 - 踏絵を踏んだ人と踏まなかつた人。その時あなたは、私は? (十月~十二月)
 - ◆ 一九九七年のテーマ
イエス様との出会い
- ◆ 一九九七年の課題**
- 受洗のきっかけ (一月~二月)
 - どんな時にイエス様に出会ったか (二月~四月)
 - ルカ福音書の第四章を深める (五月~六月)
 - イエス様が期待されるクリスチヤンとは (七月~九月)
 - ミサに行きたい! でも、ゆつくり朝寝坊もしたい……! (十月~十二月)
 - ◆ 一九九八年のテーマ
部分はたくさんあっても体はひとつ
 - ▼一九九八年の課題
 - 第二バチカン公会議の教会論の理解 (一月~三月)
 - 聖霊によって与えられるさまざまな才能と賜物について (四月~八月)
 - 聖霊の働きを感じる時 (九月~十二月)
 - ◆ 一九九九年のテーマ
御父の愛と私の愛
- ◆ 二千年のテーマ
イエスの誕生を迎えた人達と二千年のクリスマスを迎える私達**
- なぜキリスト教はカトリックとプロテスタントか……? (一月~三月)
 - 二十一世紀の幕開けを安曇川教会で迎えませんか……? 安曇川地区の人達への働きかけ (四月~十月)
- ◆ ウィチタ聖ヨゼフ本部修道院**
- よき隣人とは (八月)
ゆるしの秘跡の認識と現状 (九月)
 - よき隣人とは (八月)
 - イエスの誕跡の認識と現状 (九月)
 - ◆ 二千年のテーマ
イエスの誕生を迎えた人達と二千年のクリスマスを迎える私達
 - 私たちが現在実際に行っている毎年の目標の作成、これを三ヶ月毎に見直し評価をしている事は、すなわち信仰の見直しともなっています。
 - 貧しく精神的に孤独な人々が多い現代、修道院の中でこれらの人々の話をよく聞いてあげられるシスターがいる事は良い助けとなる。
 - 修道女となつてから、他者に対して忍耐をもつようになり、その接し方においては常にキリストの証人である事を意識の上におくようになり、信仰においては常に神に心を向けるようどんな細かい事にも神の御力を仰ぐよう習慣とした。
 - 私共の養護学校が職員や先生たちに行っている福音宣教をすべての施設が出来る範囲で……仕事を始める前に小さな祈りで始めるとか(既に行っている所もある)そこの職場に合わせてやるのが良い。

福音センター養成コース

福音センターでは、信徒使徒職養成コースとして、基礎コースをはじめ、さまざまなコースを行つてまいりましたが、今回「新企画」として「福音センター養成コース(社会の中でキリスト者をする)」を宇治・津の二会場で行いました。

「新企画」としたのは、司祭主導型の教会から信徒中心の教会へかわるべき時に、信徒自らが創り出し、学んでゆける新しいコースであるからです。

内容は以下の通りです。

- イエスが新聞を読まれたら

- チニヨさんの記事をキリストのまなざしで読み、考える。

- キリストと共に町に出る

- イエスを案内する気持ちで二人一组になって町に出て、イエスの目で町を見て、感じたことを分かち合う。

- ビデオ「ロメロ」

- 極限状況の中で、キリストの福音に生きるとはどういうことかを自分の問題として考える。

- これらのプログラムの間に講義や分かち合いを挿入し、参加者同

士の交わりと深め合いの中で、社会の中で福音を生きるとはどういふことかを探しました。



★参加者の声

●一人一人のちがいが分かつた

私は、養成コースを受ける黙想の家に向い、途中どんな事をするのか、させられるのか、とても不安でした。二日間のスケジュールの中で決められた課題について、決められた時間内に話し合い、意見や感想を一人一人が述べ、ある人がまとめを発表する。発言力の弱い私にとって、大変な事でした。

三日間が終り、振り返って見れば、課題に対し、言うだけ、聞くだけ、見てるだけでは話し合いか進まず、う感じがしました。

見えてるだけでは話し合いか進まず、キリストがいつも私達と共におり方も見方もちがうことが改めて分かりました。

初めて参加した養成コースで、充実した二日間を過ごしました。「イエスが新聞を読まれたら」に始まり、ビデオ「ロメロ」のパネルディスカッションに続く流れの中で、キリスト者として社会にどう関わるか、また日本の教会、私達の教会の現状について改めて考えさせられました。プログラムが一方的に与えられるのではなく、参加者の働きかけにより作り上げられるようになっていたのが良かつたと思います。

(Y・Y)

●集まりが教会だと感じた

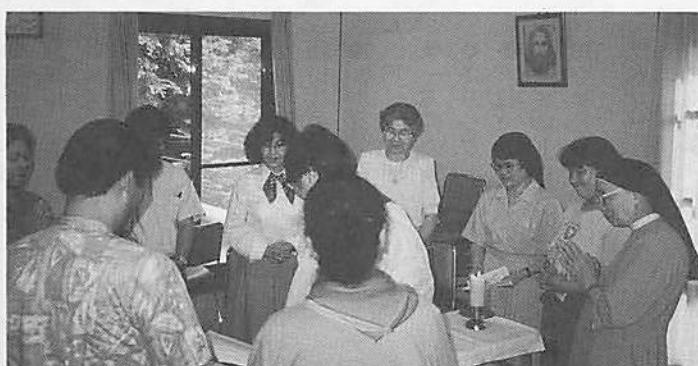
初めて養成コースに参加して、驚くばかりの恵みを神様からいただきました。一番の恵みは、人の出会いだと思います。いろいろな所から、年齢の異なった人、そして一つの目的で集った人々。その目的はキリストを知り、伝えることだと思いました。その集まりは、私達の教会が今誕生したとい

られ、働いておられることに感謝！ (S・K)

* * *

これから時代、教会の中で信徒が自立し、自分で考えてゆくことが求められています。こういった養成コースばかりでなく、信徒が共に考え、作ってゆく養成はこれからますます大切になってゆくのではないかでしょうか。共に教会の未来を考えてゆきましょう。

(柳本 昭)



お知らせ

三重地区の行事

◆敬老会 8日。四日市協会

三重研宗館の行事

◆暮しの中のカウンセリング

◆毎月曜日10時~12時

◆韓国語講座 每木曜日10時~

◆茶道教室 每木曜日13時~15時

◆自然治療力健康法温熱療法

◆毎金曜日11時~13時

◆AA 每土曜日18時~20時

奈良地区の行事

◆奈良県結婚互助会例会 8日

◆11時。野外礼拝センター

◆マリスト・ファミリー・デー

◆8日14時~16時30分。野外礼拝センターライ

◆青年を対象とした「ローマの信徒への手紙を読んで聖書と親しむ」集い

◆21時。大和八木教会

◆奈良カトリック協議会 15日

◆14時。大和郡山教会

◆スカウトサンデー・ミサ 15

日14時。奈良教会
◆敬老のミサ 15日。登美ヶ丘教会
◆小羊会の集い 16日。大和八木教会
◆奈良県ウォーカソン 23日8時30分奈良教会集合

◆子羊会例会 22日。高野教会

◆滋賀力トリック協議会 8日。

◆滋賀力トリック協議会 8日。

◆聖ドミニコ修道院。青年男女対象。

◆ミニコ会)。29日9時30分~17時。

◆長浜教会

京都北部地区の行事

◆老人ホーム「寿荘」への訪問

10日西舞鶴教会ミサ後

京都南部地区の行事

◆朝禱会(すべてのキリスト者に開かれた超教派の祈りの運動)

毎火曜日7時~8時。河原町教会

11時。河原町教会

◆伝道館。朝食及び雑費=三百円。

事務局075-(751)23337

◆マリスト・ファミリー・デー

8日14時~16時30分。野外礼拝センターライ

◆奈良カトリック協議会 15日

◆信睦二金会 13日。西陣教会

◆バザー 15日。衣笠教会

◆在世フランシスコ会京都兄弟会

会例会 15日13時30分。フランススコの家

◆南信協評議員会 22日

◆子羊会例会 22日。高野教会

◆糠みそ会 26日。九条教会

◆みことばを聞こう! テーマ=この道くわたしと、あなたとの出会い)。講師=宮本久雄師(ドミニコ会)。29日9時30分~17時。

◆木芳枝、075-(701)3303岡田久美

◆レジオ・マリ工京都コミチウ

昼食代五百円。申込075-(231)20117 鈴木へ23日まで

西院カトリック会館行事

祝祭日休館。日曜日18時閉館

連絡075-(822)7123福音センター

柳本神父の雑学講座

4日10時半。テーマ=神社の建築

◆おてんとさんの会 每火曜日

13時~16時半。お茶代百円

◆聖書研究と手話の勉強 每木

曜日19時30分

◆Sr.アスンタの書道教室 每金曜日13時30分。月謝三千円

河原町カトリック会館行事

◆カナの会結婚相談室 1日13時受付。13時30分~15時

◆京都カトリック混声合唱団 8日14時、21日19時、29日14時

◆生きた典礼をめざして! 典禮聖歌講座(五) 11日。テーマ=典礼聖歌の伝統と刷新。講師=さかばやし功師(大阪教区高槻教会)。

◆典礼聖歌集・筆記用具・弁当持参。チエレスティ。

◆シルバーコース 10月2日

6日。内容=老年の「恵み」は教會共同体に不可欠。信徒、修道者、司祭対象。定員三十名。三万五千円。

◆連絡052-(831)5037

リーダー合宿に行こう!!

『リーダー合宿』ってなに?

という声が聞こえてくるような気がします。何のための合宿なんだろう。お答えしましょう。

皆さん、広島体験学習や春・夏・冬の合宿をご存じでしょうか。

「行ったことがある」とか「子供が参加したことがある」とかなどと思われる方もおられるでしょう。

京都教区の中学生を対象としたもので毎年行っているものです。

広島は、実際に広島へ行って肌で平和とは何か、今自分に何ができるかというものを考えてもらおうといふのです。合宿は、毎回テーマを決め、分かち合いをするといふのです。そのときに中学生と一緒にになって考え、分かち合いをし、事故が無いよう引率するのがこの『リーダー』というものです。

リーダーは、主に高校卒業し合宿に参加する暇のある人が(実際は暇を作つて)協力して担当しています。

本番の合宿の日まで準備をしたり、どうすればみんなが楽しんでくれるのか考え

ます。『行つたことがある』とか「子供が参加したことがある」とかなどと思われる方もおられるでしょう。

京都教区の中学生を対象としたもので毎年行っているものです。

広島は、実際に広島へ行って肌で平和とは何か、今自分に何ができるかというものを考えてもらおうといふのです。合宿は、毎回テーマを決め、分かち合いをするといふのです。そのときに中学生と一緒にになって考え、分かち合いをし、事故が無いよう引率するのがこの『リーダー』というものです。

リーダーは、主に高校卒業し合宿に参加する暇のある人が(実際は暇を作つて)協力して担当しています。

本番の合宿の日まで準備をしたり、どうすればみんなが楽しんでくれるのか考え

たりといろいろと大変です。

このようにリーダーが行動していく上で、先ほども指摘しましたが、リーダー同士の協力というものが必要不可欠ということになります。

リーダー間の意思疎通がうまくいっていないと

いけないわけです。そんなわけで、リーダー間のコミュニケーションを図るために行われたのがリーダー合宿なのです。

ここでもう一つ疑問になりませんか? 終わったことにもかかわらず表題は『リーダー合宿に行こう』となつていています。若い人にリーダーをして欲しい! ということなので

(((((おひなさん)))) あんてな

教区信徒連絡協議会の報告

2、十一月二十三日の準備状況について。教区大会に向かって司祭

評から話すことで、地区カトリック協議会の役員及び三重地区の小教区の信徒、修道者、司祭を含め四十八名参加した。会議終了後、一致を祈願してミサが捧げられ、その後、懇親会があった。

北

部、滋賀、奈良、三重各地区的カトリック協議会の役員及び三重地区の小教区の信徒、修道者、司祭を含め四十八名参加した。会議終了後、一致を祈願してミサが捧げられ、その後、懇親会があった。



あんてな (((((おひなさん))))

このように引率するのがこの『リーダー』というものです。

リーダーは、主に高校卒業し合宿に参加する暇のある人が(実際は暇を作つて)協力して担当しています。

本番の合宿の日まで準備をしたり、どうすればみんなが楽しんでくれるのか考え

りご連絡ください。(M・K)

書道展・絵画展応募要項

'96年書週間

- 主催……京都教区・カトリックきょうと福音センター・聖書使徒職委員会
- 趣旨……聖書を生活の中に入れていく
- 参加資格……(1)子供の部—幼児から高校生まで
(2)成人の部—大学生・一般社会人(どなたでも)
- 出品要項……(1)出品点数 3点まで 3点まで(合作も可)
(2)大きさ 自由 自由
表装、裏打ちなし 額縁なし
(3)出品料 無量
- 出品締切……11月1日(金) 截止
- 送り先……カトリックきょうと福音センター
〒604京都市中京区壬生淵田町26☎(075)822-7123
- 展示会……西院カトリック会館 1階ホール
11月12日(火)~11月24日(日)

教区スケジュール

9月	2日(月)諸宗教委員会・田中司教出席(東京)	4日(水)大聖年準備委員会・田中司教出席(東京)	8日(日)長岡教会三十周年記念ミサ、堅信式
	12日(木)司教顧問会	14日(土)敬老祝賀会・田中司教出席(のぞみの園)	16日(金)21日田中司教サンシャン島巡礼
	23日(月)田中司教叙階二十周年	26日(木)司祭評議会	29日(日)田中司教コリアンセンターでミサ
	29日(日)教区経済問題評議会	29日(日)青少年担当者会議	

お知らせ

◆帰天 里脇浅次郎枢機卿(元長崎大司教区長)92歳。8月8日。

◆聖書委員会主催の聖書講話 内容『真生会館の冊子「ここるとす」と「アルトス」の使用方法について。講師=雨宮慧師(真生会館)。26日14時。西院会館。五百円。旧新約聖書持参

◆福音センター養成コース 同体のあり方を考える。28日(土)~29日(日)。野外礼拝センター。定員三十名。一万四千円。申込075(822)7123福音センター

◆典礼委員会発足のための「準備のつどい」のお知らせ 京都教区典礼委員会発足にあたって、典礼や典礼音楽に関心のある方々の参加を広く求めます。資格や経験を問いません。皆様の参加をお待ちしています。29日15時。

野外礼拝センター。連絡030(89)57669担当司祭・森田直樹

◆シンポジウム聖書と差別―現代社会の差別構造と解放する福音― シンポジスト=絹川久子(日本基督教団、女性神学者)「女性の視点でみた聖書」、西野猛生(京都教区司祭)「労働者の立場から聖書をどう読むか」、山田経三(イエヌス会司祭)「現代の社会構造からみた聖書」。司会者=本田哲郎(フランシスコ会司祭)。15日14時~17時。河原町教会。参加費=五百円。主催=日本部落問題委員会・正義と平和京都協議会。連絡075(223)2291

◆サンパウロ京都センター新設のお知らせ

◆サンパウロ京都センター新設のお知らせ

開店日=7月28日。営業時間=10時~18時30分。定休日=毎水曜日、国民の祝祭日、3月19日、6月30日、8月14~16日、12月25日、年末始7日間。連絡075(256)9678

◆青年センターよりお知らせ 11月23日のメインの記念ブログラムと平行して、青年が中心になつて、歌・劇・出店など楽しく盛り上がりれるようなイベントを考えています。ついては、歌・劇などの出演者、出店(模擬店)される方を募集します。

◆親睦二金会よりお知らせ 7月12日よりパウロ杉下安雄さんが会長となられました。

◆関西カトリック・ボランティアセンター発足のお知らせ 今年の5月に「関西カトリック・ボランティアセンター」が発足しました。目的=キリストの福音的

実践を通して、「全ての人が、人としての尊厳を守られ、大切にされる社会」の実現を目指して、より具体的に社会のニーズに応えていく。活動=登録されたボランティアの派遣、会員間の連絡及び情報交換、ボランティア養成講座・集会の開催等。事務所=寝屋川市美井町18の10聖母女学院内

◆「一万匹の蠍運動」基金報告 累計 12,753,269円 加入者 853名 (7月15日現在)

◆編集部よりお知らせ お知らせに載せたい行事の情報は、10月号でしたら8月26日までに、11月号でしたら9月25日までに、FAX 075(682)573にお願いします。

◆電話番号情報コーナー ▼いのちの電話(相談窓口) 075(864)4343 0742(35)1000 052(971)4343 075(864)4343 075(662)3971

▼京都市東九条在宅介護支援センター(24時間体制) 075(781)5884

▼北白川教会小聖堂内納骨堂 075(781)5884

▼聖ヨゼフ葬典社

精神に基づくボランティア活動の実践を通して、「全ての人が、人としての尊厳を守られ、大切にされる社会」の実現を目指して、より具体的に社会のニーズに応えていく。活動=登録されたボランティアの派遣、会員間の連絡及び情報交換、ボランティア養成講座・集会の開催等。事務所=寝屋川市美井町18の10聖母女学院内

◆「一万匹の蠍運動」基金報告 累計 12,753,269円 加入者 853名 (7月15日現在)

◆編集部よりお知らせ お知らせに載せたい行事の情報は、10月号でしたら8月26日までに、11月号でしたら9月25日までに、FAX 075(682)573にお願いします。

◆電話番号情報コーナー ▼いのちの電話(相談窓口) 075(864)4343 0742(35)1000 052(971)4343 075(864)4343 075(662)3971

▼京都市東九条在宅介護支援センター(24時間体制) 075(781)5884

▼北白川教会小聖堂内納骨堂 075(781)5884

▼聖ヨゼフ葬典社

精神に基づくボランティア活動の実践を通して、「全ての人が、人としての尊厳を守られ、大切にされる社会」の実現を目指して、より具体的に社会のニーズに応えていく。活動=登録されたボランティアの派遣、会員間の連絡及び情報交換、ボランティア養成講座・集会の開催等。事務所=寝屋川市美井町18の10聖母女学院内

◆「一万匹の蠍運動」基金報告 累計 12,753,269円 加入者 853名 (7月15日現在)

◆編集部よりお知らせ お知らせに載せたい行事の情報は、10月号でしたら8月26日までに、11月号でしたら9月25日までに、FAX 075(682)573にお願いします。

◆電話番号情報コーナー ▼いのちの電話(相談窓口) 075(864)4343 0742(35)1000 052(971)4343 075(864)4343 075(662)3971

▼京都市東九条在宅介護支援センター(24時間体制) 075(781)5884

▼北白川教会小聖堂内納骨堂 075(781)5884

▼聖ヨゼフ葬典社

精神に基づくボランティア活動の実践を通して、「全ての人が、人としての尊厳を守られ、大切にされる社会」の実現を目指して、より具体的に社会のニーズに応えていく。活動=登録されたボランティアの派遣、会員間の連絡及び情報交換、ボランティア養成講座・集会の開催等。事務所=寝屋川市美井町18の10聖母女学院内

◆「一万匹の蠍運動」基金報告 累計 12,753,269円 加入者 853名 (7月15日現在)

◆編集部よりお知らせ お知らせに載せたい行事の情報は、10月号でしたら8月26日までに、11月号でしたら9月25日までに、FAX 075(682)573にお願いします。

◆電話番号情報コーナー ▼いのちの電話(相談窓口) 075(864)4343 0742(35)1000 052(971)4343 075(864)4343 075(662)3971

▼京都市東九条在宅介護支援センター(24時間体制) 075(781)5884

▼北白川教会小聖堂内納骨堂 075(781)5884

▼聖ヨゼフ葬典社

精神に基づくボランティア活動の実践を通して、「全ての人が、人としての尊厳を守られ、大切にされる社会」の実現を目指して、より具体的に社会のニーズに応えていく。活動=登録されたボランティアの派遣、会員間の連絡及び情報交換、ボランティア養成講座・集会の開催等。事務所=寝屋川市美井町18の10聖母女学院内

◆「一万匹の蠍運動」基金報告 累計 12,753,269円 加入者 853名 (7月15日現在)

◆編集部よりお知らせ お知らせに載せたい行事の情報は、10月号でしたら8月26日までに、11月号でしたら9月25日までに、FAX 075(682)573にお願いします。

◆電話番号情報コーナー ▼いのちの電話(相談窓口) 075(864)4343 0742(35)1000 052(971)4343 075(864)4343 075(662)3971

▼京都市東九条在宅介護支援センター(24時間体制) 075(781)5884

▼北白川教会小聖堂内納骨堂 075(781)5884

▼聖ヨゼフ葬典社